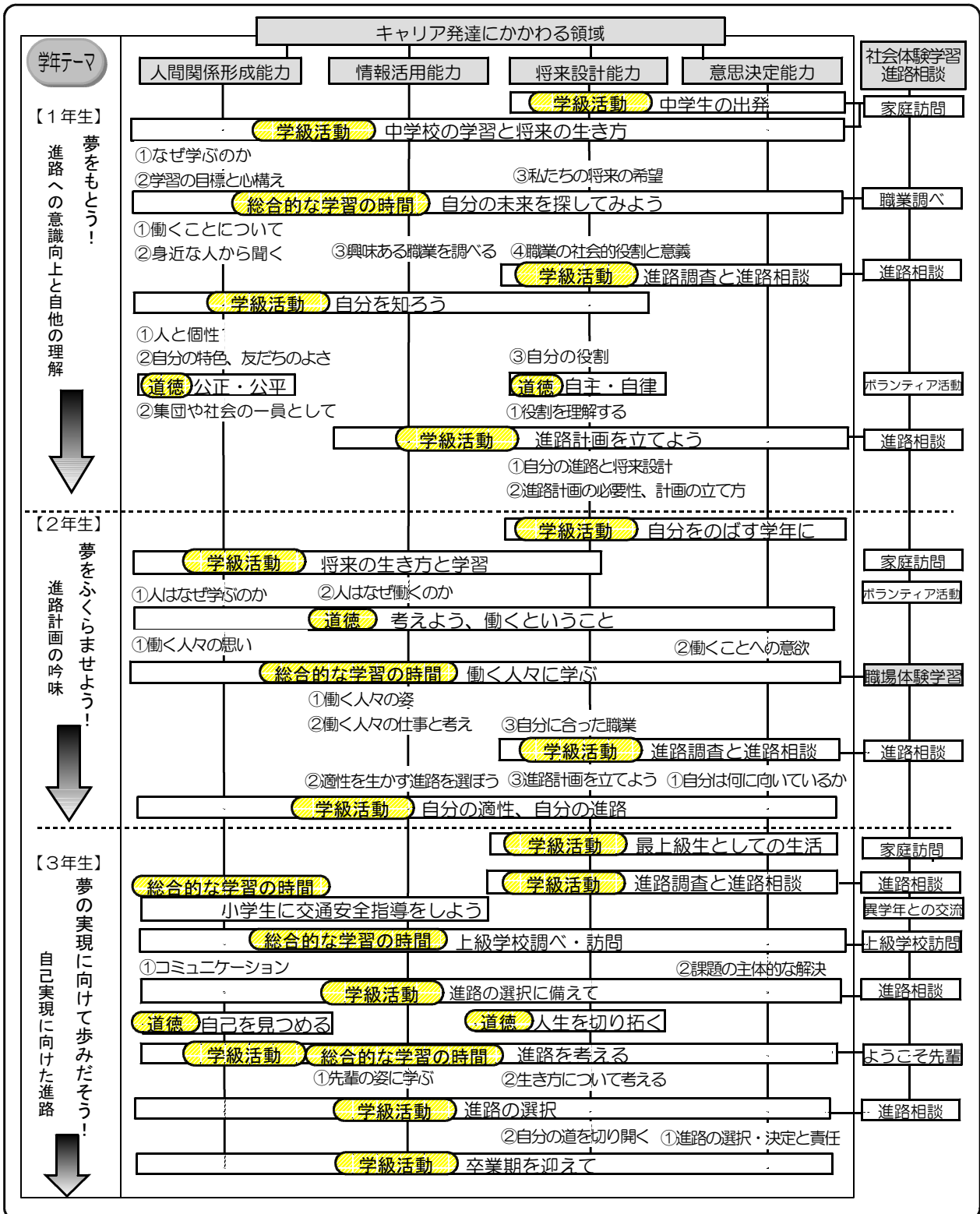


# Q 8 中学校におけるキャリア教育はどのように行くとよいですか。

## 1 教育活動全体をキャリア教育の視点から整理します。

学年のテーマ等に基づき、道徳や学級活動、総合的な学習の時間等の教育活動をキャリア教育の視点から見直し、系統性を踏まえた指導を行うことが大切です。

○キャリア教育題材系統図（道徳・特別活動・総合的な学習の時間）



## 2 中学校のキャリア発達を踏まえた指導を重視します。

自分のよさや個性を理解し、自己有用感を得るといった中学校のキャリア発達を踏まえ、学習活動を工夫することが大切です。

### ○教科の学習内容を生かしたキャリア教育

◇中学校第1学年 国語科

◇単元名 「中学校生活を後輩に伝えよう」(書くこと)

◇単元の目標

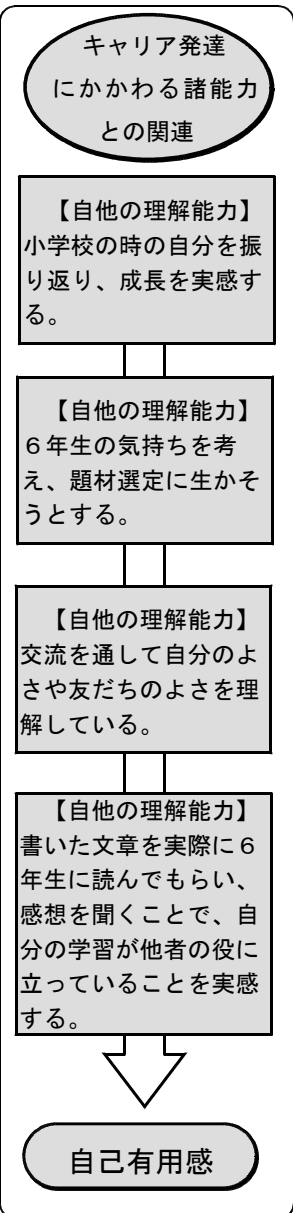
適切な材料を選んだり、書いた文章を読み合って自分の表現の参考にしたりすることができる。

◇単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
身近な生活から必要な材料を集め、進んで書き表そうとしている。	自分の考えや気持ちを的確に表すために適切な材料を選んだり、書いた文章を読み合い題材のとらえ方などについて自分の表現の参考にしたりしている。	指示語や接続詞に注意して書いている。

◇単元の指導計画(5時間扱い)

時	○学習内容 ・ 学習活動	具体的評価規準と評価方法
1	○単元の学習への見通しをもつ。 ・小学校6年生に中学校生活を伝える文章を書くことを確認する。 ・小学校の時、中学校にどんなイメージをもっていたか思い出すことで、相手意識を明確にする。 ・中学校で経験したことや、感じたことをウェビングし、題材を集める。	・伝える相手を意識して、書く材料を集めようとしている。(国語への関心・意欲・態度) 【ワークシート・観察】
2	○書くための材料を選ぶ。 ・6年生の不安を和らげたり、6年生が期待をもつことができるような題材を選ぶ。 ・互いの題材を見て、とらえ方のよさや、改善点について話し合う。	・伝える目的を意識して、題材を選んでいる。(書く能力)【ワークシート・発言】
3	○文章を構成する。 ・効果的な文章を書く時の構成の大切さを確認する。 ・「序論」「本論」「結論」にそれぞれどんなことを書くか、構成メモにまとめる。	・指示語や接続詞に注意して書いている。(言語についての知識・理解・技能) 【作品】
4	・メモをもとに400字程度で文章を書く。 ・書いた文章を互いに読み合い、題材のよさについて話し合う。	・友だちの題材のとらえ方のよさや工夫を自分の表現の参考にしている。 (書く能力) 【観察】
5	○書いた文章を実際に6年生に読んでもらい、感想を聞く。 ・感想から、6年生にふさわしい題材やわかりやすい言葉を選んでいたかを自己評価する。 ・相手にふさわしい文章について確認する。	・感想を自分の表現に生かそうとしている。(国語への関心・意欲・態度) 【自己評価】



### 3 関連的な指導の充実を図ります。

特別活動、道徳、総合的な学習の時間等との関連を踏まえ、学習活動を工夫することが大切です。

#### ○キャリア教育の単元指導計画（中学校第2学年）

時	内容 (領域等)	能力
第1時	○職場体験ガイダンスⅠ 様々な職業があることを理解し、その職業に就くためのプロセスを知る。 (特別活動)	③ ⑧
第2時	○考えよう、働くということⅠ 資料をもとに、家族がどのような思いで働いているかと考え、考える。 (道徳)	⑤
第3時	○職場体験ガイダンスⅡ 自分の適性に基づき、興味・関心のある職業を考える。 (特別活動)	⑦
第4時	○働く人々に学ぶ (職場体験)	②
24時	自分の選択した職場での体験 (総合的な学習の時間)	③ ④ ⑥
第25時	○考えよう、働くということⅡ 資料をもとに、勤労の尊さを理解し、勤労を通して社会に奉仕する気持ちをもつ。 (道徳)	⑥

【関連するキャリア発達にかかわる諸能力】

- ①自他の理解能力
- ②コミュニケーション能力
- ③情報収集・探索能力
- ④職業理解能力
- ⑤役割把握・認識能力
- ⑥計画実行能力
- ⑦選択能力
- ⑧課題解決能力

◇題材名 「自分に合った職業を考えよう」(職場体験ガイダンスⅠ)

◇目標 将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事へ関心をもつ。(関心・意欲・態度)  
自分の個性や興味・関心等に基づいて体験したい職業を考えている。(思考・判断)

◇本時の展開

選	学習活動	教師の指導と評価
つ	1 職場体験の意義を理解する。	○職場体験の目的をしっかりとつとができるようにする。
見	2 どのような要素を重視し、職業を選択するか、考えを発表し合う。	○職業を選ぶ基準にはどのような項目があるか、考えられるようにする。
追	3 課題を確認する。 4 昨年の2年生が作成した職場体験の記録を見ながら、自分にふさわしい職業を考え、交流する。	○先輩の資料を活用したり、友だちとの交流を取り入れることで、主体的な選択能力の向上を図るようにする。(思)
ま	5 本時の活動に関する自己評価をする。	○主体的に職業を選択しようとしたことを評価し、次の活動への意欲を高める。(関)

学習を職場体験学習の導入に生かします。

◇主題名 「勤労・奉仕」4ー(4) (考えよう、働くということⅡ)

◇ねらい 勤労の尊さを理解し、勤労を通して社会に奉仕する気持ちを深め、進んで社会の発展向上に努めようとする意欲を育てる。

◇資料 「たんぼぼ作業所」(道徳教育推進資料 平成6年)

選	学習活動	主な発問
導	1 職場体験について振り返る。	○職場体験でどんなことを感じましたか。職場体験の振り返りを生かして学習活動を工夫します。
展	2 資料を読んで話し合う。 ◆希望の仕事に就いたとき ◆行方不明になった修一君を捜しているとき ◆修一君の母親から手紙をもらったとき	○主人公は仕事がうまくいかないときどんな気持ちだったでしょう。 ○修一君を捜す主人公の気持ちはどんなだったでしょう。 ○修一君の手紙を読んだ主人公はどんなことを考えたでしょう。
展	3 自分を振り返る。	○勤労は、社会の中でどんな意味をもつのか考えてみましょう。
終	4 実践意欲を高める。	○職場体験先の方からの感想を紹介します。

◇单元名 「働く人々に学ぼう」

◇单元の目標

- ・ 職場体験学習を通して、働くことの意義や自分の希望する職業に対する意識を高める。
- ・ 実際に汗を流して働く体験を通して、労働の尊さや厳しさを肌で感じ取る。
- ・ 相手や場に応じた礼儀やマナーを身に付けるとともに、相手の立場に立ち、温かい気持ちで様々な人々と触れ合うことができるようにする。

◇单元の指導計画（21時間扱い）

事前指導（特別活動）を生かして学習活動を工夫します。

時	○学習内容 ・ 学習活動		
つ	○職場体験学習の意義や目的を確認する。 ・ 職場体験ガイダンス（特別活動）で学習したことをもとに職場体験学習の意義や目的を確認する。	課題意識を高めるハローワーク形式による職場選択 ① 将来希望する職業や、適性をもとに職場体験学習申込書を作成する。 ② 職場登録リスト・事業所受入登録票を検索し、希望の体験先を選択する。生徒はパソコンに登録してある40程度の求人カードを検索し、自分に合った事業所を第3希望まで選ぶ。 ③ 申込みの際、体験先の選択理由や、学びたいことをしっかりと話す。	
	○事業所を選ぶ。 ・ 自分の適性や将来を考えながら、体験したい事業所を選択する。 働く人々に学ぼう		
調	○体験したい職業について詳しく知る。 ・ 体験したい職場の仕事内容を考えたり、質問を考えたりする。 ○マナーについて知る。 ・ 社会人の講師からマナーを学ぶ。		
取	○実際に職場で体験を行う。	意欲的な体験活動を促す教師や事業所のかかわり ＜教師＞ ・ 生徒の不安や悩みを把握する。 ・ 受入先の担当者から生徒の様子を聞く。 ＜事業所＞ ・ 生徒の頑張りほめ、よくない言動は注意する。 ・ 社会的なマナーや礼儀の大切さを教える。 中学生時代の大切さや、学ぶことの意義を話す。	
	一 日 目		・ 事前訪問をする。 挨拶、自己紹介 体験に当たっての注意事項の確認 仕事内容の打合せ
	二 日 目		・ 実際に仕事を体験する。 朝の挨拶、今日の仕事の確認 仕事の体験 1日の反省、まとめ
	三 日 目		・ 実際に仕事を体験する。 朝の挨拶、今日の仕事の確認 仕事の体験 3日間のまとめ 体験終了のお礼
ま	○職場体験の記録をまとめる。 ・ 職場での体験を振り返り、働くことや自分の将来について考えたことをまとめる。 ○職場体験学習の発表会をする。 ・ バズセッションにより、自分の考えを発表したり、友だちの考えについて意見を言ったりして、生き方について考えを深める。 ○单元全体の振り返りを行う。	望ましい勤労観・職業観の育成につながる交流会 ○体験して学んだこと ○働く意義 ○将来の自分とのかかわり	

